

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			4つの個室を完備し、療育内容に合わせ使用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			5人以上の指導員が常駐。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	現在車イスでの利用はないが、玄関の段差については早急に改善したい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			新形町教室・桜新町教室と日々の目標と振り返りについて共有。PDCAを有効活用する為の勉強会も実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		書面アンケートは緊急性を要する一部保護者にとどめているが、全保護者を対象にした定期的な面談を行い、業務への落とし込みを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果だけでなく、改善策や将来的なビジョンについても公開するよう努めている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	連携機関からの評価やご意見をいただく機会はあるが、今後、純然たる第三者からの声をいただく機会を設けていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			自治体で主催する研修会のほか、自社でも積極的にミーティング及び勉強会を開催。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			小さな問題が発生するたびに職員間できちんと検証し、客観的な視点でサービス計画の見直しを図っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			障害の程度や支援ニーズを明確にするため、有効に活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎回、各事業所ごとに出し合った課題や意見をもとに活動プログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			PDCAを活用し、チームで連携しながら工夫を図っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		休日の支援体制については積年の課題。速やかに実行できるよう努めたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別療育でソーシャルスキルを習得後、小集団から集団へと段階を踏みながらの活動を推奨している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			お子様1名に対して、最低2名以上の職員が当日の支援内容を共有。伝達漏れがないよう資料を作成し、各自担当業務を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了が業務時間外になった場合でも、必ず翌朝に行うようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			独自にフォーマットを策定し、正確に、詳しく記録できるよう努めている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			細かな軌道修正ができるよう、最低でも月に一度のモニタリングを心掛けている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			複数のガイドラインを全て把握することは難しい面もあるが、それぞれの根幹をきちんと把握して適切な支援ができるよう努めている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には必ず2名以上の職員が参加している。
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			教育委員会内に弊社専任の担当者をつけていただき、何かあるたびに密な連携を図れる体制をとっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			県立こころの医療センター、荘内病院、鶴岡協立病院など地域の主要な関連医療機関全てと連携している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			原則、顔を合わせての情報交換を心掛けているが、相手方も多忙なため電話、メール、書面による連絡方法も活用している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ実績はないが、将来的に就労支援事業所を設置したいと考えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			酒田市はなまし学園、鶴岡市障害者相談支援センターなどと定期的な意見交換を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	近隣の小学校との調整を図りたい。中高生の職場体験の受け入れも検討している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	研修には参加しているが、協議会とさらなる連携を図れるようこちらからも積極的な働きかけを行っていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際など、短時間だが毎回保護者とのコミュニケーションを取り、お子様の近況を把握できるよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			個々に抱える困り感を正確に把握し、それぞれに合った助言を行っている。家庭内で親子でできるSST、タッチセラピー等の療育もアドバイス。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			○	細部まで丁寧な説明を心掛けているが、難しい用語を分かりやすくという点で課題が残るので改善したい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			夫婦間で子育てに対する意識の差がある場合も多く、父母双方へ適切なアプローチを行うよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母会などの組織は立ち上げていないが、保護者が一堂に会しての情報交換会を年に数回開催している。

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		細かな苦情についても弊社代表と担当職員が迅速に対応することを心掛けている。きちんと原因を究明し、即座に改善することを徹底している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	防災訓練の案内や感染症対策についてのお知らせなどは、逐一書面にて保護者へ伝達。お子様の活動状況をお知らせする会報については前向きに検討していきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		書類は鍵付きのロッカーで厳重に管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		十分に意思表示出来ないお子様にはPECS(絵カード交換式コミュニケーションシステム)等を活用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	利用者の個人情報の観点から、慎重にならざるを得ない側面もあるが、可能な限り推進していきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	職員間では周知徹底できているが、今後は保護者に対しても可能な限り各種マニュアルを明示していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に1回、各事業所で災害及びミサイルに対する避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止のための研修会へほとんどの職員を派遣している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	ガイドラインをきちんと策定しているが、今後はさらなる多様なケースに対応できるよう検討を重ね、保護者の理解を賜りたいと考えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		少しでも心配なご家庭は医師による指示書の提出を徹底している。指示書をもとにおやつ等に反映。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		各自、気付いた時点ですぐに書き込むクセをつけている。記入した事例は全体ミーティングでその都度共有するようにしている。	